

平成 30 年 秋の叙勲

牧在住で牧小学校長、名森小学校長、安八町教育長などを歴任された渡邊治雄さんが「瑞宝双光章」を受章されました。

渡邊さんは、昭和 45 年に揖斐郡藤橋村立横山中学校教諭として奉職されて以来、常に子どもたちの事を第一に考え、時代とともに変化する教育課題に正対し、自己研鑽を重ね、地域の教育界に貢献されています。渡邊さんは「ひとえに多くの人の支えがあったからだ」と感謝しています」と述べられました。



▲渡邊治雄さん

古代米で新年のスタートを

11 月 16 日（金）、牧区長会と牧小学校 5 年生が社会就労センターひかりの里へ古代米（もち米）30kg を寄贈しました。

この古代米は、5 年生が田植えと稲刈りを行ったものです。

児童代表の渡邊嵩登さんと立花紗椰さんは「手作業で昔の人の苦労を実感しながら収穫しました」と話してくれました。

ひかりの里では年末にお餅をついて利用者に配り、新年にはぜんざいや焼き餅にさせていただく予定です。



▲貴重な古代米をいただきました

社会福祉大会・青少年育成大会

11 月 18 日（日）、中央公民館及び保健センターで第 37 回安八町社会福祉大会・第 28 回安八町青少年育成大会が開催され、式典や講演、バザーコーナーなどで賑わいました。

福祉関係、青少年、指導者、家族の一行詩の各部門で感謝状・表彰状の授与が行われました。

作文発表では東安中学校 3 年の下平尚哉さん、登龍中学校 2 年の辻えみりさんが登壇し、下平さんは「生まれつき右手が不自由ですが、障がいがあることを言い訳にせず挑戦し続けていきたい」と発表しました。

また、講演会では気象予報士の天達武史さんが聴衆を多いに沸かせました。



▲福祉関係の部表彰



▲下平さん（上）、辻さん（下）



▲あいさつする天達さん